

項目	観点	教科書名	
		中学器楽 音楽のおくりもの(17・教出)	中学生の器楽(27・教芸)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取扱う内容の選択について	○音楽を愛好する心情を育てるために、どのように配慮されているか。	・7つの楽器を取り上げ、篠笛の製作を含めて生徒が我が国の伝統的な音楽を愛好する心情を育てることができるよう配慮されている。 ・「Let's Play」や「Let's Try」では、親しみやすい楽曲や名曲をバランスよく取り入れている。	・8つの楽器を取り上げ、その中でも身近な打楽器の奏法を細かく明示することで、合奏への興味や関心を高められるように配慮されている。 ・「名曲スケッチ」では、曲の解説をわかりやすく記載し、生徒になじみのある楽曲を多く取り上げ、音楽を愛好する心情を育てることができるように配慮されている。
	○音楽に対する感性を育てるために、どのように配慮されているか。	・学習のまとめに鑑賞が位置付けられ、その楽器の音楽表現のよさを感じ取れるよう配慮されている。	・学習の導入に鑑賞が位置付けられ、その楽器の音色や響きを感じ取れるよう配慮されている。
	○我が国の音楽文化に愛着をもつとともに、諸外国の音楽文化を尊重する態度を養うために、どのように配慮されているか。	・各楽器において奏者からのメッセージを記載し、楽器の特徴や音色に関心を持たせ、我が国の音楽文化に愛着をもつことができるよう配慮されている。	・日本の伝統音楽の楽器編成(口絵資料)は、楽器の組み合わせを比較しながら学習できるよう配慮されている。
2 内容の程度及び取扱いについて	＜基礎・基本の定着のための工夫＞ ○楽器の基礎的な知識や奏法を身に付けるために、どのような工夫が見られるか。	・「リズムdeゴー」などを通して、アルトリコーダーの基本奏法を身に付けられるように工夫され、生徒が楽しみながら学べるよう配慮されている。 ・リコーダーの楽曲には、使用する運指を各ページ内に掲載し、常に正しい運指を確認しながら練習ができるよう工夫されている。	・段階的に無理のない教材が配列され、アルトリコーダーの奏法では、奏法などに応じた楽曲で基礎的な技能の習得を図るとともに、アーティキュレーションなどの奏法も早い段階で取り入れ、発展的な学習にも意欲がもてるよう工夫されている。
	＜関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫＞ ○主体的な学習を促すために、器楽教材にどのような工夫が見られるか。	・難易度の高い楽曲も多く載っているため、技能を有する生徒たちが、ねらいにそってより意欲をもって学習できるよう工夫されている。 ・技能を高めるためのポイントや奏法が細かく示され、自らの技能を高めていこうとする意欲をもつことができるよう工夫されている。	・多様なジャンルのアンサンブル教材が掲載され、演奏のポイントに沿って無理なく取り組めるような工夫がなされている。 ・Q&Aを用いて、よりよい演奏にするためのポイントを示し、主体的に学習活動に取り組むことができるよう工夫されている。
	＜個に応じた指導のための工夫＞ ○自分の思いや意図をもって表現する力を育成するために、どのような工夫が見られるか。	・演奏のポイントや奏法の指示が詳しく書かれているため、一人一人の思いや意図を表現するためのヒントとなっている。	・アンサンブルでは、自分の思いや考えが書き込めるようなワークシートが掲載されており、表現の方法を具体的に考えることができる工夫が見られる。
3 構成・配列・分量	○教材の構成・配列や内容の系統性については、どのような特色があるか。	・我が国の伝統的な音楽に親しめるよう、様々な和楽器を取り入れたアンサンブルの楽曲が掲載されている。	・リコーダーを中心とした重奏や合奏などの発展的なアンサンブルに取り組めるようになっている。
	○教材の分量及び配分には、どのような特色があるか。	・ギターと和楽器の内容が充実しており、しっかりと技能を身に付けることができるような特色がある。	・アルトリコーダーの基礎練習が充実しており、技能向上の意欲を高め、計画的に学習できる特色がある。
4 表記・表現	○楽譜、説明文、挿絵、写真などの表記、表現について、どのような工夫が見られるか。	・奏法の写真には、手や指の動きも矢印で示されており、生徒にもわかりやすい。	・基本的な奏法を身に付けるための説明や解説がていねいに示されている。 ・学習MAPでは、学習する内容を明確に表記している。
5 体裁・使用上の便宜	○製本、楽譜、文字の大きさなどの体裁や目次や巻末資料などの使用上の便宜について、どのように配慮されているか。	・文字が大きく見やすい。 ・折り込みページがあり、リコーダーの運指表やギターコードも大きく表示されている。	・表紙装画にも芸術性(美術的要素)があり、技能教科の関連性や奥深さなども再認識できるような配慮がある。 ・一般(音楽)の教科書と色分けしてあるので、視覚的にも区別がつけやすくなっている。